

32. 住宅の腐朽破損程度別農家数

33. 今後、新築・増改築を計画している農家数(A)

(単位 10戸)

(単位 10戸)

			総 数	修理不要	小修理を要する	大修理を要する	危険・修理不能	総 数	新 築	増改築
昭和	41	12	12,116	6,118	3,908	1,943	147	1,436	503	933
地域農業	中南	北	7,775	4,005	2,487	1,195	88	849	300	549
		勢勢	2,967	1,487	965	491	24	285	122	163
経済地帯	都平農山	近郊	1,374	626	456	257	35	302	81	221
		市地	1,191	621	392	159	19	153	70	83
		農山	4,591	2,420	1,452	668	51	482	196	286
		村	5,063	2,466	1,611	924	62	668	203	465
		村	1,271	611	453	192	15	133	34	99
建築時期	昭和	前治	657	62	200	355	40	125	90	35
		正	3,502	741	1,629	1,056	76	582	247	335
昭和	31	20年以前	2,444	956	1,061	396	31	296	100	196
		21～30	2,103	1,249	770	84	—	181	45	136
		31～35	1,580	1,337	201	42	—	152	10	142
		36年以後	802	752	40	10	—	76	11	65
計			1,028	1,021	7	—	—	24	—	24

- 注 1 この表は「農業調査」の結果による。
 2 腐朽破損の程度は、総理府統計局「住宅統計調査」に準じ次の4区分とする。①修理不要……住宅の主要部分(屋根、柱、壁、土台)に損傷がないものをいう。②小修理を要する……住宅の主要部分に損傷はないが、たとえば、外廻りの板がところどころ落ちていたり、壁にひびが入つていたり、瓦が一部外れていたり、雨どいが破損してひさしの一部がとれているなど、いずれもちよつとした部分の手入れで修理できるもの。③大修理を要する……住宅の主要部分に破損、腐朽など不完全なところがあつて、大規模な修理をしなければ家の寿命に影響があると思われるもの。④危険・修理不能……もはや家の寿命がきていてこれ以上もたないと思われる住宅、災害で大破したままの住宅などで柱や床の傾斜、屋根のゆがみ、住宅の主要部分の腐朽破損が甚だしく、ちよつとした雨風、地震に危険を感じる程度のもの。
 3 今後、新築・増改築を計画している農家数には、今後5年以内に新築・増改築を行なう計画のあるものを計上した。

34. 建築資金に占める借入金の割合別農家数

(単位 10戸)

			総 数	借入金なし	2割未満	2～4	4～6	6～8	8割以上	全額借入金
昭和	41	12	1,830	1,009	97	360	180	101	31	52
地域農業	中南	北	1,184	722	65	214	88	45	16	34
		勢勢	490	178	25	128	70	56	15	18
経済地帯	都平農山	近郊	156	109	7	18	22	—	—	—
		市地	204	152	3	30	19	—	—	—
		農山	740	415	45	153	57	33	13	24
		村	734	374	38	144	94	42	18	24
		村	152	68	11	33	10	26	—	4
31～35年	66m ² 以上	未	166	71	4	34	36	4	3	14
		83	184	69	7	70	21	14	3	—
		99	130	64	6	35	12	3	7	3
		116	166	111	14	21	17	3	—	—
		132m ²	58	44	—	10	4	—	—	—
		計	98	72	3	13	3	3	—	4
		計	802	431	34	183	93	27	13	21
36年以降	66m ² 以上	未	248	115	6	59	21	26	7	14
		83	232	125	14	17	22	37	7	10
		99	148	86	—	41	14	—	—	7
		116	201	105	35	36	14	11	—	—
		132m ²	78	57	4	—	13	—	4	—
計			1,028	578	63	177	87	74	18	31

- 注 1 この表は「農業調査」の結果による。
 2 この表は昭和31年以後に建築したものを対象とした。

35. 建築延面積別農家数

(単位 10戸)

			総 数	50m ² 未満	50～66	66～83	83～99	99～116	116～132	132～149	149～166	166m ² 以上
昭和	41	12	1,830	214	200	416	278	367	136	119	66	34
地域農業	中南	北	1,184	98	107	235	192	284	101	95	48	24
		勢勢	490	82	82	145	75	68	21	7	3	7
経済地帯	都平農山	近郊	156	34	11	36	11	15	14	17	15	3
		市地	204	7	—	41	33	54	29	23	17	—
		農山	740	70	76	143	147	162	57	44	28	13
		村	734	130	104	171	65	130	46	49	18	21
		村	152	7	20	61	33	21	4	3	3	—
世帯員数	2～8人	以下	130	16	10	31	34	21	3	8	7	—
		2人	231	29	47	71	44	17	13	3	7	—
		3人	411	34	101	108	38	74	14	28	7	7
		4人	378	60	17	94	58	58	54	17	10	10
		5人	441	55	25	69	69	128	38	37	17	3
		6人	190	13	—	43	20	56	14	16	14	14
		7人	49	7	—	—	15	13	—	10	4	—
		8人以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

- 注 1 この表は「農業調査」の結果による。
 2 この表は昭和31年以後に建築した住宅について、その住宅部分の延面積により分類した。